

(別添3)

肝がん・重度肝硬変（非代償性肝硬変）の治療目的の 入院と判断するための医療行為の例示

以下の1～5は、肝がん・重度肝硬変（非代償性肝硬変）の治療目的の入院と判断するための医療行為の一例を示したものであり、例示されていない医療行為又は今後新たに医療保険の適用となる医療行為であっても、肝がん・重度肝硬変（非代償性肝硬変）の治療目的であると判断される医療行為については、実施要綱3（1）で定める肝がん・重度肝硬変入院医療に該当するものとする。

1. 肝がんの医療行為

手術

| 区分番号 | 診療行為名称 | 請求コード |
|---------|---------------------------------|-----------|
| K695-00 | 肝切除術（部分切除） | 150362610 |
| K695-00 | 肝切除術（亜区域切除） | 150362710 |
| K695-00 | 肝切除術（外側区域切除） | 150362810 |
| K695-00 | 肝切除術（1区域切除（外側区域切除を除く）） | 150362910 |
| K695-00 | 肝切除術（2区域切除） | 150363010 |
| K695-00 | 肝切除術（3区域切除以上） | 150363110 |
| K695-00 | 肝切除術（2区域切除以上で血行再建） | 150363210 |
| K695-02 | 腹腔鏡下肝切除術（部分切除） | 150348010 |
| K695-02 | 腹腔鏡下肝切除術（外側区域切除） | 150348110 |
| K695-02 | 腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除） | 150388710 |
| K695-02 | 腹腔鏡下肝切除術（1区域切除（外側区域切除を除く）） | 150388810 |
| K695-02 | 腹腔鏡下肝切除術（2区域切除） | 150388910 |
| K695-02 | 腹腔鏡下肝切除術（3区域切除以上） | 150389010 |
| K697-03 | 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cm以内）（腹腔鏡） | 150378410 |
| K697-03 | 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cm以内）（その他） | 150378510 |
| K697-03 | 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cmを超える）（腹腔鏡） | 150378610 |
| K697-03 | 肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（2cmを超える）（その他） | 150378710 |
| K697-02 | 肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法（腹腔鏡） | 150378210 |
| K697-02 | 肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法（その他） | 150378210 |
| K615-00 | 血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術） | 150376810 |
| K615-00 | 血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（その他） | 150360710 |
| K697-05 | 生体部分肝移植術 | 150284810 |

処置

| | | |
|---------|-----------|-----------|
| J017-00 | エタノール局所注入 | 140050910 |
| D412-00 | 経皮的針生検法 | 160098010 |

放射線治療

| | | |
|---------|-------------------|------------|
| M001-00 | 体外照射（高エネルギー放射線治療） | 180020710* |
| M001-02 | ガンマナイフによる定位放射線治療 | 180018910 |
| M001-03 | 直線加速器による放射線治療 | 180026750* |

注射

| | | |
|---------|----------------------|-----------|
| G003-00 | 抗悪性腫瘍剤局所持続注入 | 130007510 |
| G003-03 | 肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入 | 130010410 |

画像診断

| | | |
|---------|----------------------------|-----------|
| E003-00 | 造影剤注入（動脈造影カテーテル法）（選択的血管造影） | 170027110 |
|---------|----------------------------|-----------|

* 該当する区分の検査すべてを含む。

2. 重度肝硬変（非代償性肝硬変）の医療行為

手術

| 区分番号 | 診療行為名称 | 請求コード |
|---------|---------------------------------|-----------|
| K532-00 | 食道・胃静脈瘤手術（血行遮断術を主とする） | 150136110 |
| K532-00 | 食道・胃静脈瘤手術（食道離断術を主とする） | 150136210 |
| K532-02 | 食道静脈瘤手術（開腹） | 150136350 |
| K532-03 | 腹腔鏡下食道静脈瘤手術（胃上部血行遮断術） | 150366910 |
| K533-00 | 食道・胃静脈瘤硬化療法（内視鏡） | 150136510 |
| K533-02 | 内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術 | 150270150 |
| K615-00 | 血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等）（選択的動脈化学塞栓術） | 150376810 |
| K621-00 | 門脈体循環静脈吻合術（門脈圧亢進症手術） | 150154510 |
| K635-00 | 胸水・腹水濾過濃縮再静注法 | 150159710 |
| K635-02 | 腹腔・静脈シャントバルブ設置術 | 150260450 |
| K668-2 | バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術 | 150401110 |
| K711 | 脾摘出術 | 150179810 |
| K711-2 | 腹腔鏡下脾摘出術 | 150271850 |
| K697-05 | 生体部分肝移植術 | 150284810 |

処置

| | | |
|---------|-------------------------|------------|
| J008-00 | 胸腔穿刺 | 140003210* |
| J019-00 | 持続的胸腔ドレナージ | 140004110 |
| J010-00 | 腹腔穿刺（人工気腹、洗浄、注入及び排液を含む） | 140003610 |
| J021-00 | 持続的腹腔ドレナージ | 140004510 |

画像診断

E003-00 造影剤注入（動脈造影カテーテル法）（選択的血管造影） 170027110

* 該当する区分の検査すべてを含む。

3. 肝がんの医療行為と判断する薬剤等(一般名)

(1) 化学療法

殺細胞性抗癌剤：エピルビシン、ドキソルビシン、シスプラチン、ミリプラチン、マイトマイシンC、フルオロウラシル、ゲムシタビン、テガフル・ウラシル等

分子標的治療薬：ソラフェニブ、レゴラフェニブ、レンバチニブ、カボザンチニブ、ラムシルマブ、ベバシズマブ等

アテゾリズマブ、デュルバルマブ、トレメリムマブ、ペムプロリズマブ等

(2) 鎮痛薬

オピオイド：モルヒネ、フェンタニル、ペチジン、ブプレノルフィン、ペンタゾシン、エプタゾシン、トラマドール、オキシコドン等

4. 重度肝硬変（非代償性肝硬変）の医療行為と判断する薬剤等(一般名)

(1) 肝性浮腫・腹水治療薬（利尿薬）

肝性浮腫あるいは腹水、難治性腹水等の病名を有し、かつ、下記薬剤を投与している場合には、重度肝硬変（非代償性肝硬変）の対象医療と判断する。

- ・バゾプレッシン受容体拮抗薬：トルバプタン
- ・ループ系利尿薬：フロセミド、ブメタニド、トラセミド、プレタニド、アゾセミド
- ・カリウム保持性利尿薬：スピロラクトン、トリアムテレン、カンレノ酸カリウム

(2) 肝性脳症治療薬

肝性脳症の病名を有し、効能又は効果として「慢性肝障害時における脳症の改善」を有する薬剤（商品名：アミノレバン、テルフィス、ヒカリレバン、モリヘパミン）による治療が実施されている場合には、重度肝硬変（非代償性肝硬変）の対象医療と判断する。

(3) 抗ウイルス治療薬

効能又は効果として「HCV-RNA 陽性のC型非代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善」を有する薬剤による治療が実施されている場合には、重度肝硬変（非代償性肝硬変）の対象医療と判断する。ただし、肝炎治療特別促進事業において、非代償性肝硬変（Child-Pugh 分類B又はC）に対するインターフェロンフリー治療の対象患者と認定された者に限る。

5. その他の医療行為

別添2「肝がん・重度肝硬変（非代償性肝硬変）の病名の判定基準」に記載のある病名があり、入院で次に示す医療行為が行われた場合、本事業の入院医療と判断する。

- (1) 肝がんが肝臓以外に転移した時に転移巣に対して行われる手術（腫瘍摘出術等）
- (2) 肝がんが胆管に浸潤するなどした場合の減黄治療（内視鏡的胆道ドレナージ等）
- (3) 門脈血栓症に対する薬物治療（保険適用のある薬剤に限る）

- (4) 上記以外であって、肝がん又は重度肝硬変（非代償性肝硬変）により発生したことが明らかな合併症状に対する治療を目的とした入院であるとして、本事業の入院医療と判断するもの。なお、当該医療行為については、様式第12により、事前にかん・生活習慣病対策課に情報提供するものとする。